

昭 和 六 年 二 月



十二週年紀念寫真帖

法 財 大 阪 白 雲 館



宿泊保護  
隣保事業

財團法人 大阪自彊館 全景

### 戊申詔書

朕惟フニ方今人文日ニ就リ  
月ニ將ミ東西相倚リ彼此相  
濟シ以テ其ノ福利ヲ共ニス  
朕ハ爰ニ益國交ヲ修メ友義  
ヲ悌シ列國ト與ニ永ク其ノ  
慶ニ賴ランコトヲ期ス願ミ  
ルニ日進ノ大勢ニ伴ヒ文明  
ノ惠澤ヲ共ニセントスル固  
ヨリ内國運ノ發展ニ須ツ戰  
後日尚淺ク庶政益更張ヲ要  
ス宜ク上下心ヲ一ニシ忠實  
業ニ服シ勤儉ヲ治メ惟レ  
信惟レ義醇厚俗ヲ成シ華ヲ  
去リ實ニ就キ荒怠相誡メ自  
彊息マサルヘシ

### 御名 御璽

明治四十一年十月十三日

皇華正山御璽



所在地 大阪市西成區西今船町<sup>五</sup>番<sup>六</sup>地  
敷地 九百四十六坪。建物 七百八十二坪。



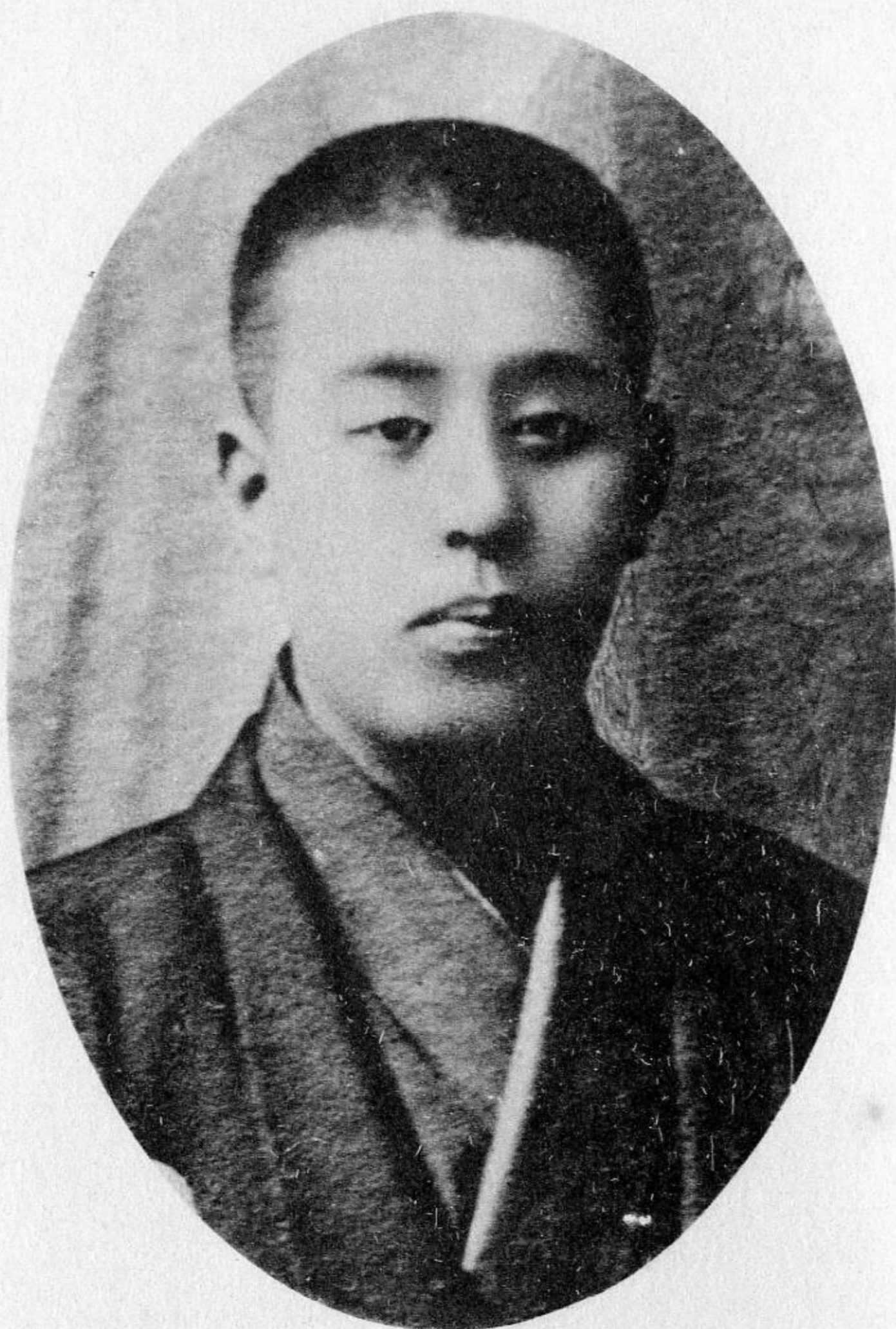
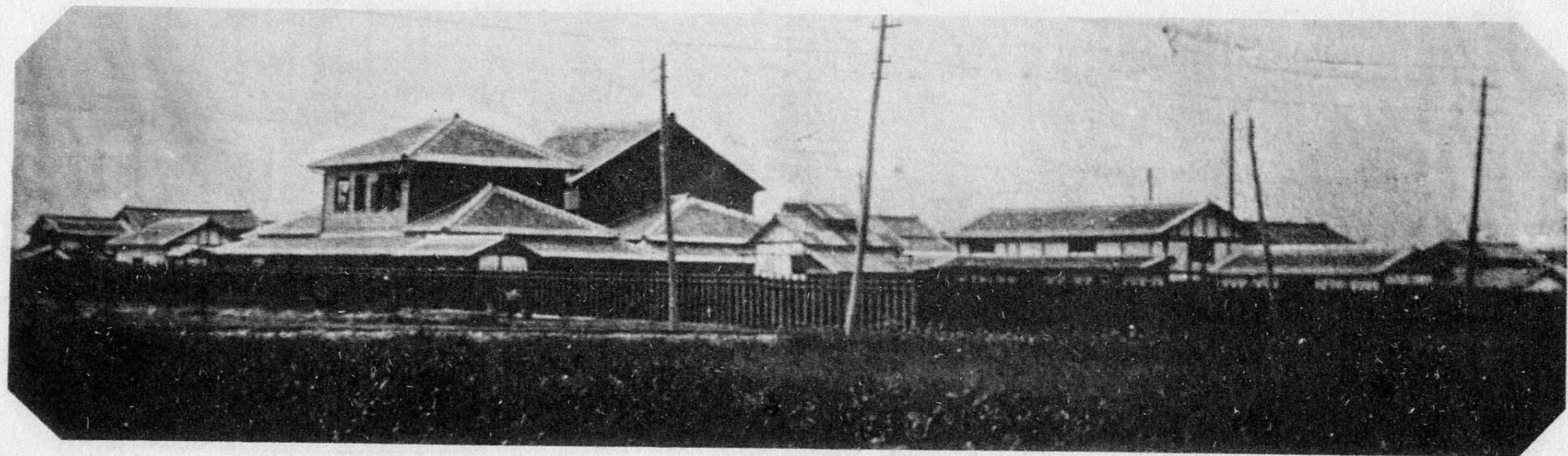


常務理事 中村二徳氏

明治四十五年六月十五日宿泊保護及職業紹介  
 授産事業開始。 大正 年一月財團法人設  
 立申請、全年六月九日許可。



景全の時當立創と門表の在現



理事長 酒井猪太郎氏

明治四十四年 月私立大阪自彊館創立事務開始、  
 全 四十五年 月宿舎及附屬建物の建築着手。



事務室

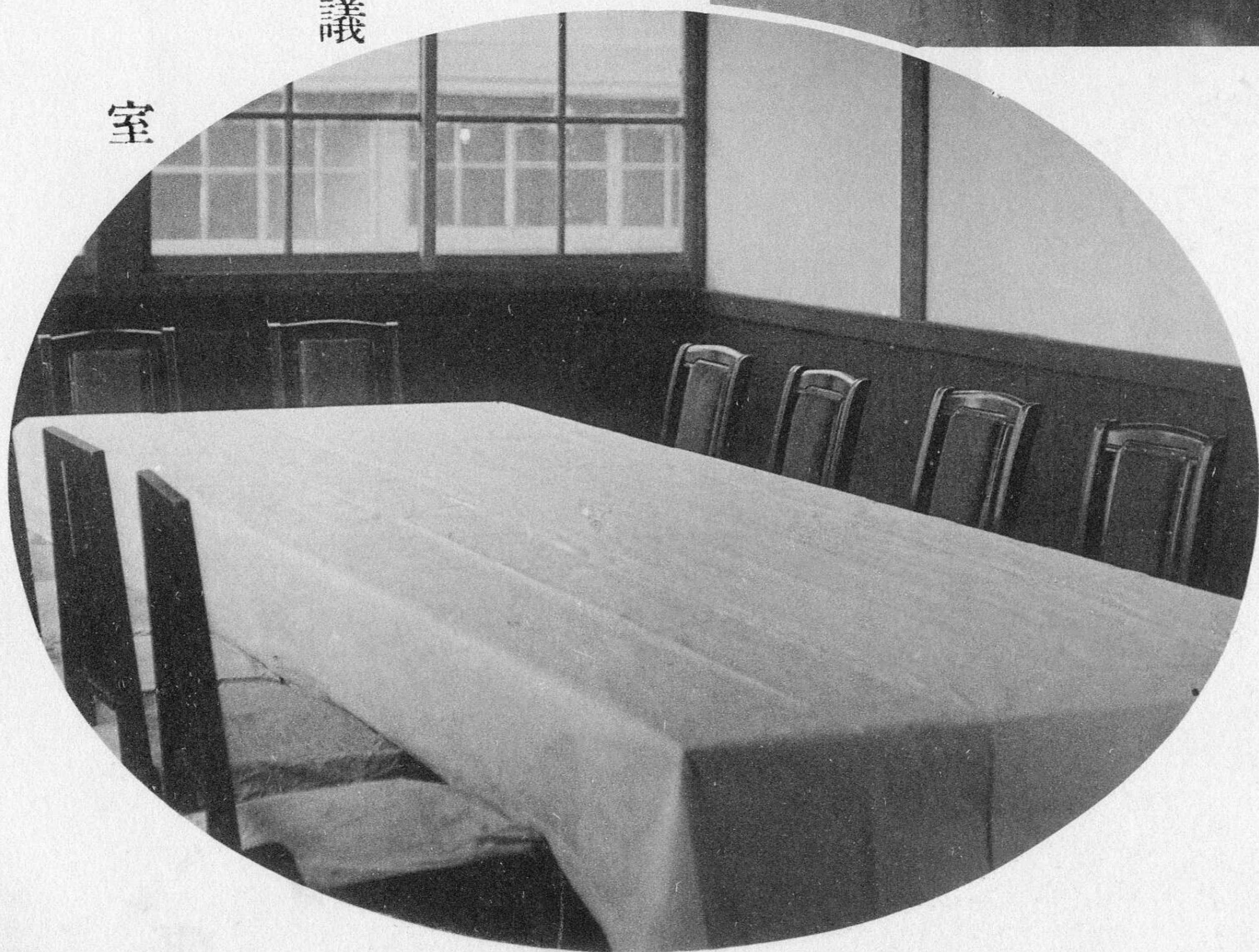


事業

其他	日用品廉賣	人事相談	兒童保育	職業紹介	共同宿泊
般善隣事業		貯金獎勵	成人教育	授產	簡易貸間

會議室

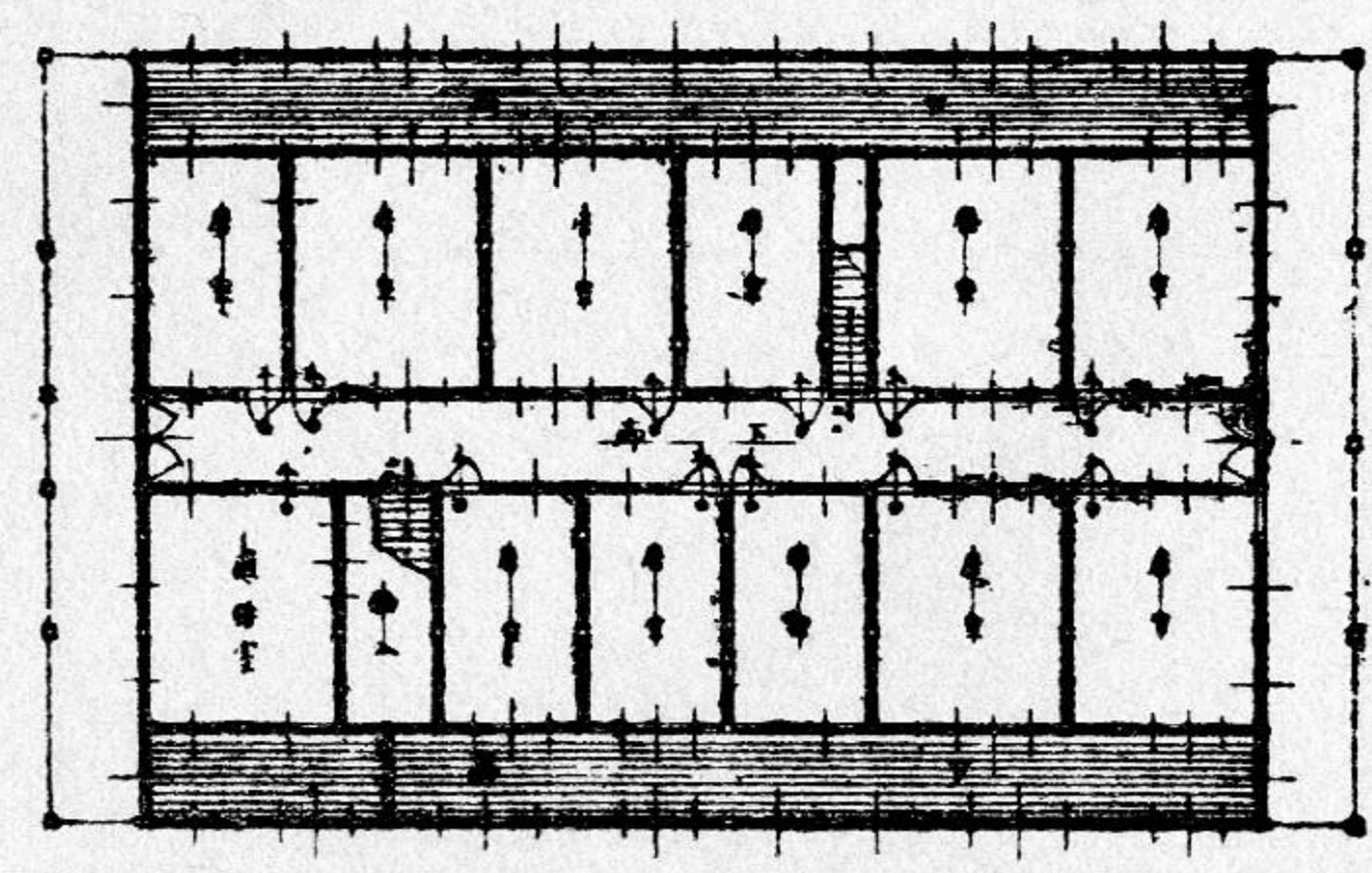
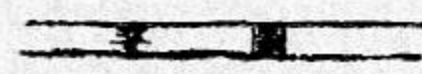
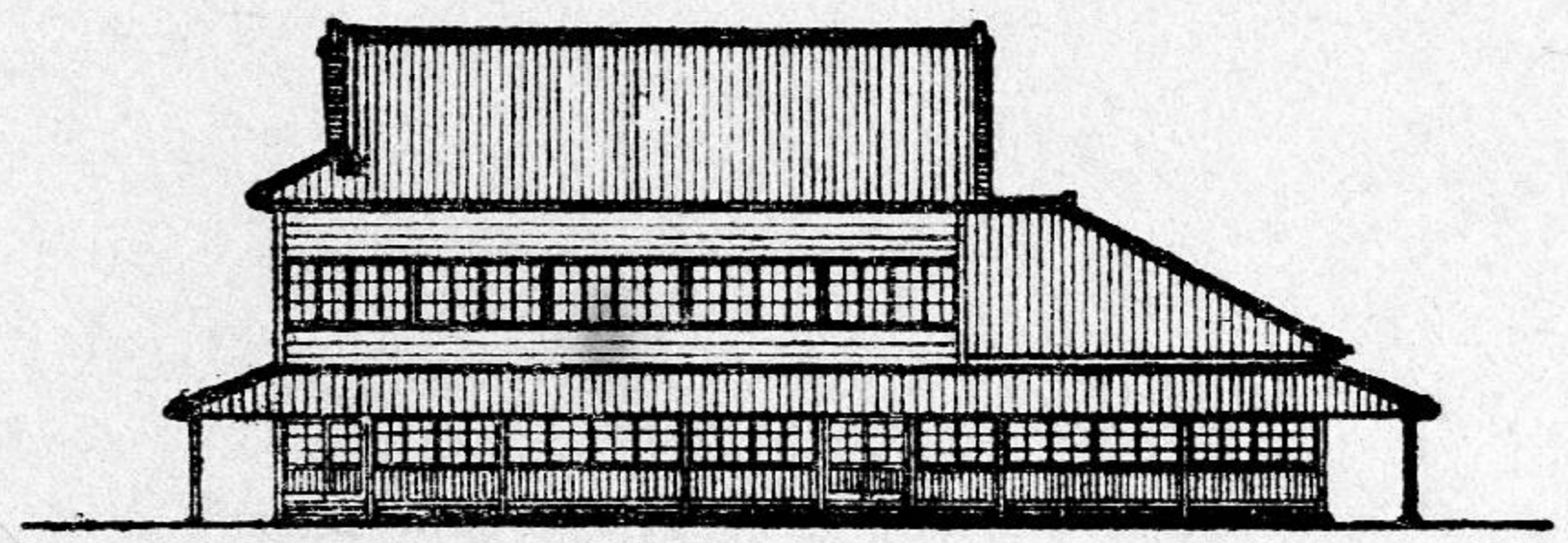
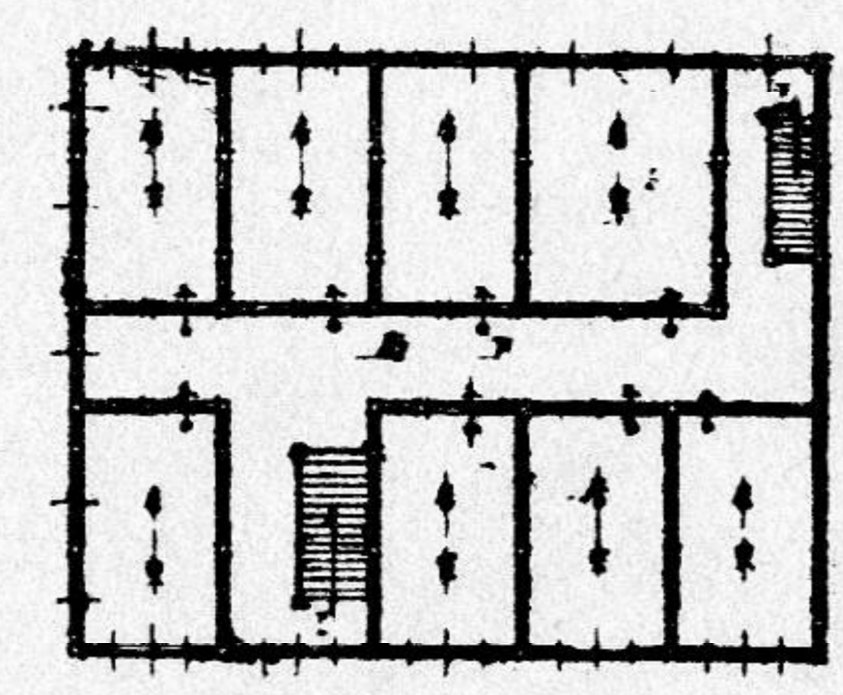
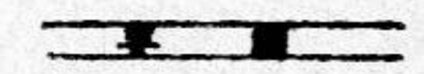
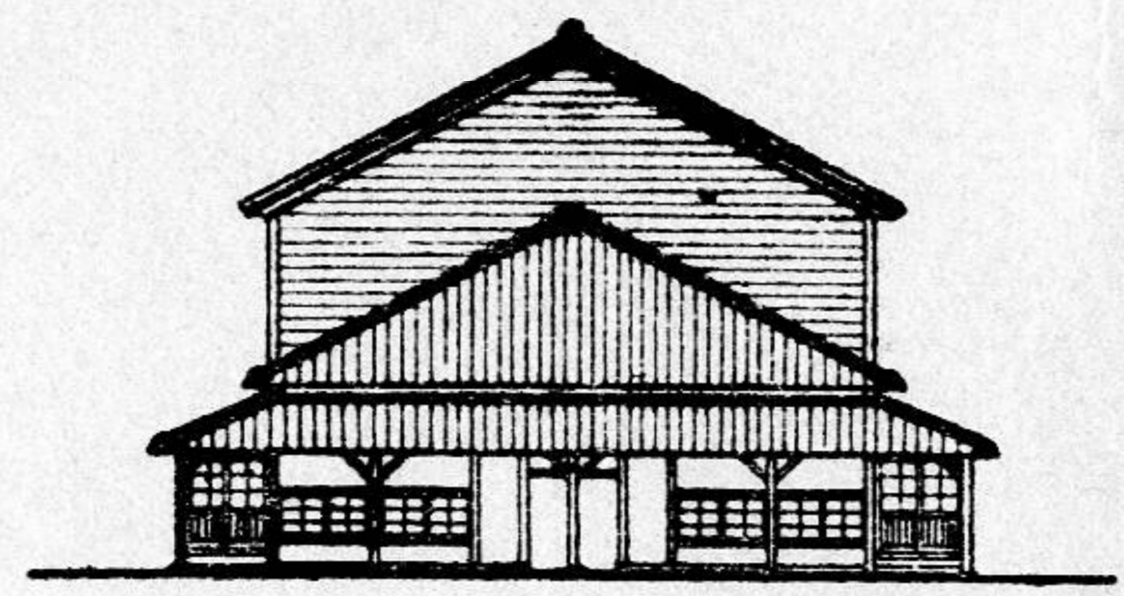
室



應接室兼醫務室



甲館



改増築設計圖面

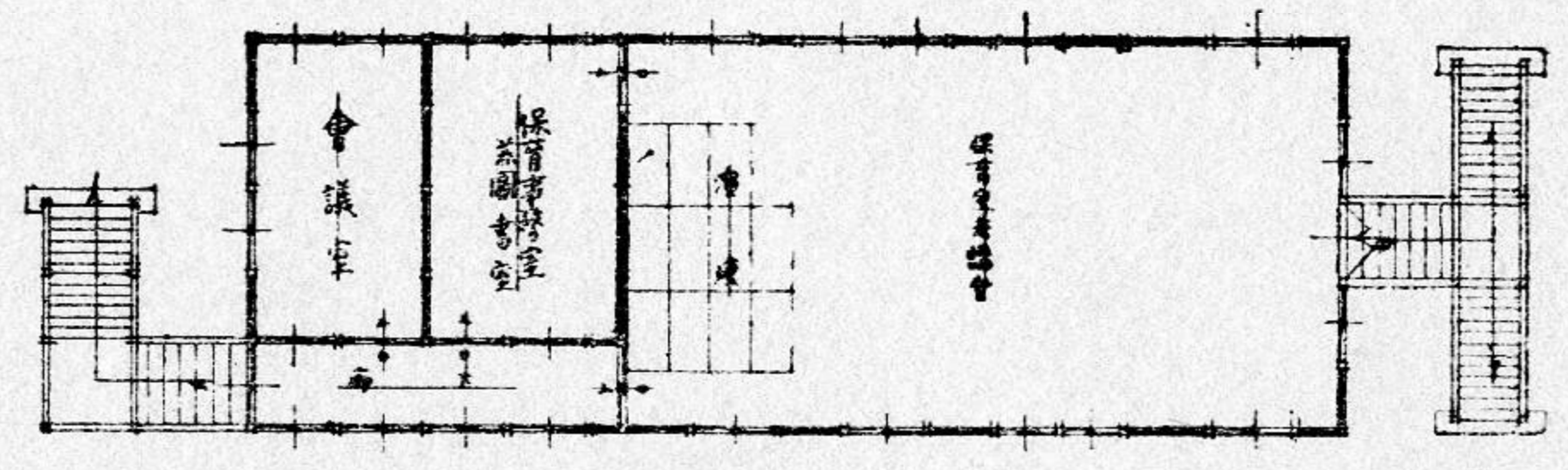
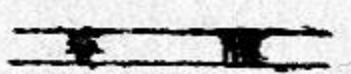
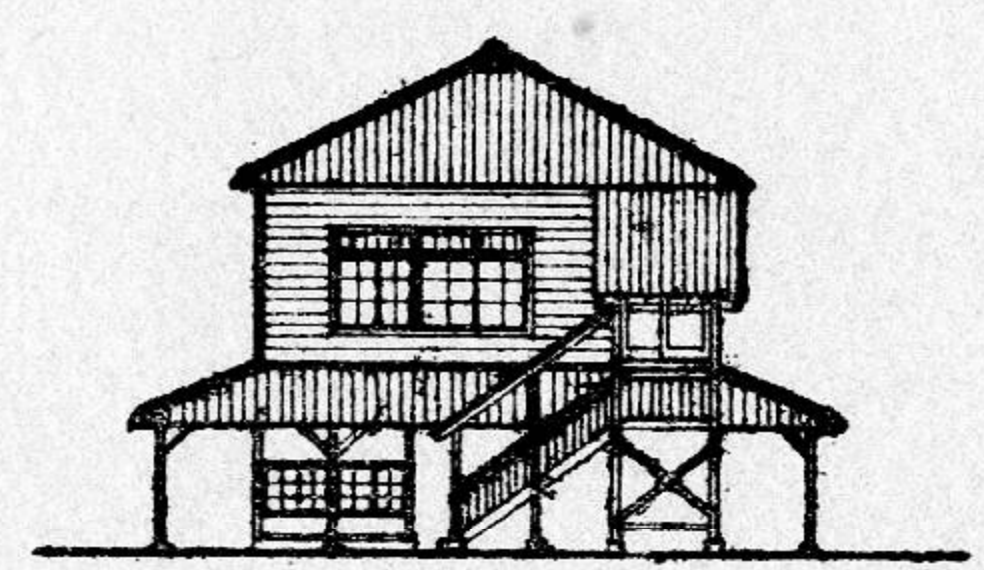
甲館建坪

階下百十八坪五七 階上五十坪四

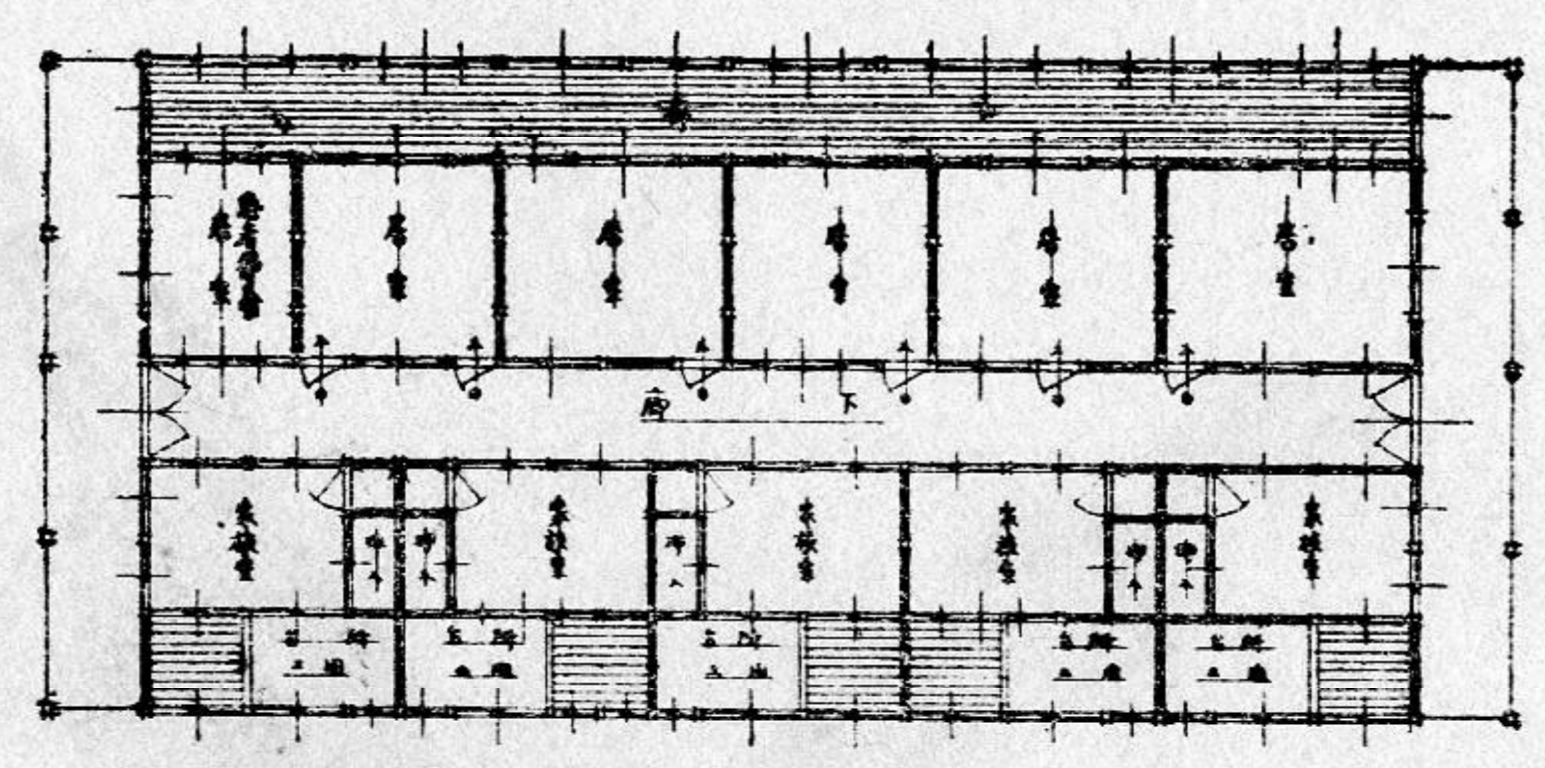
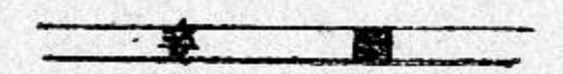
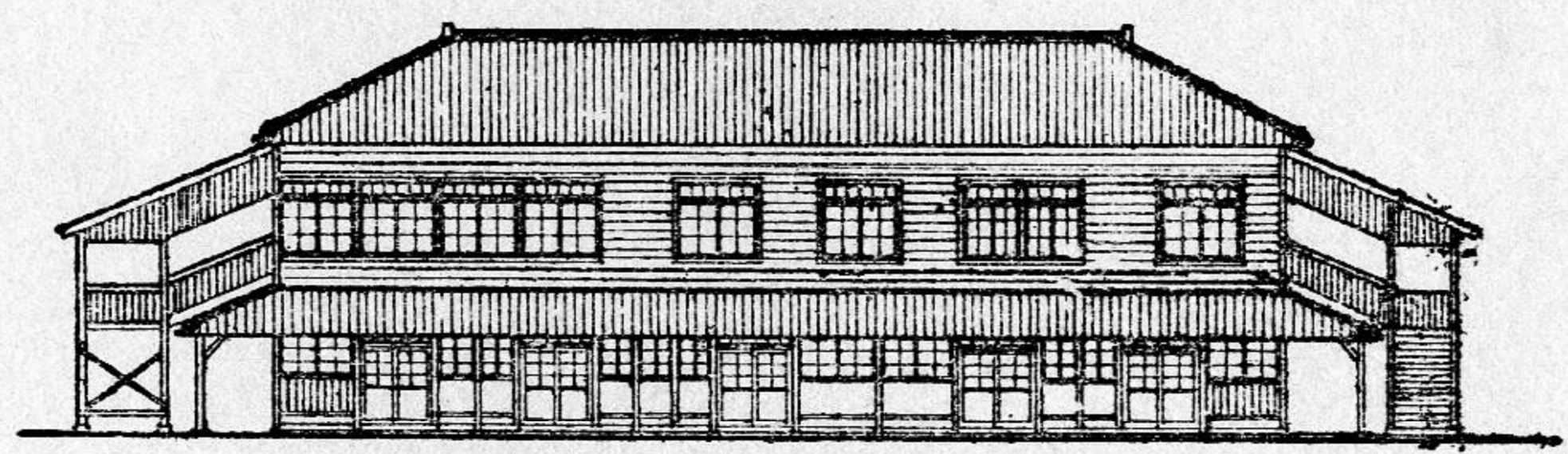
乙館建坪

階下百十坪 階上六十坪

乙館



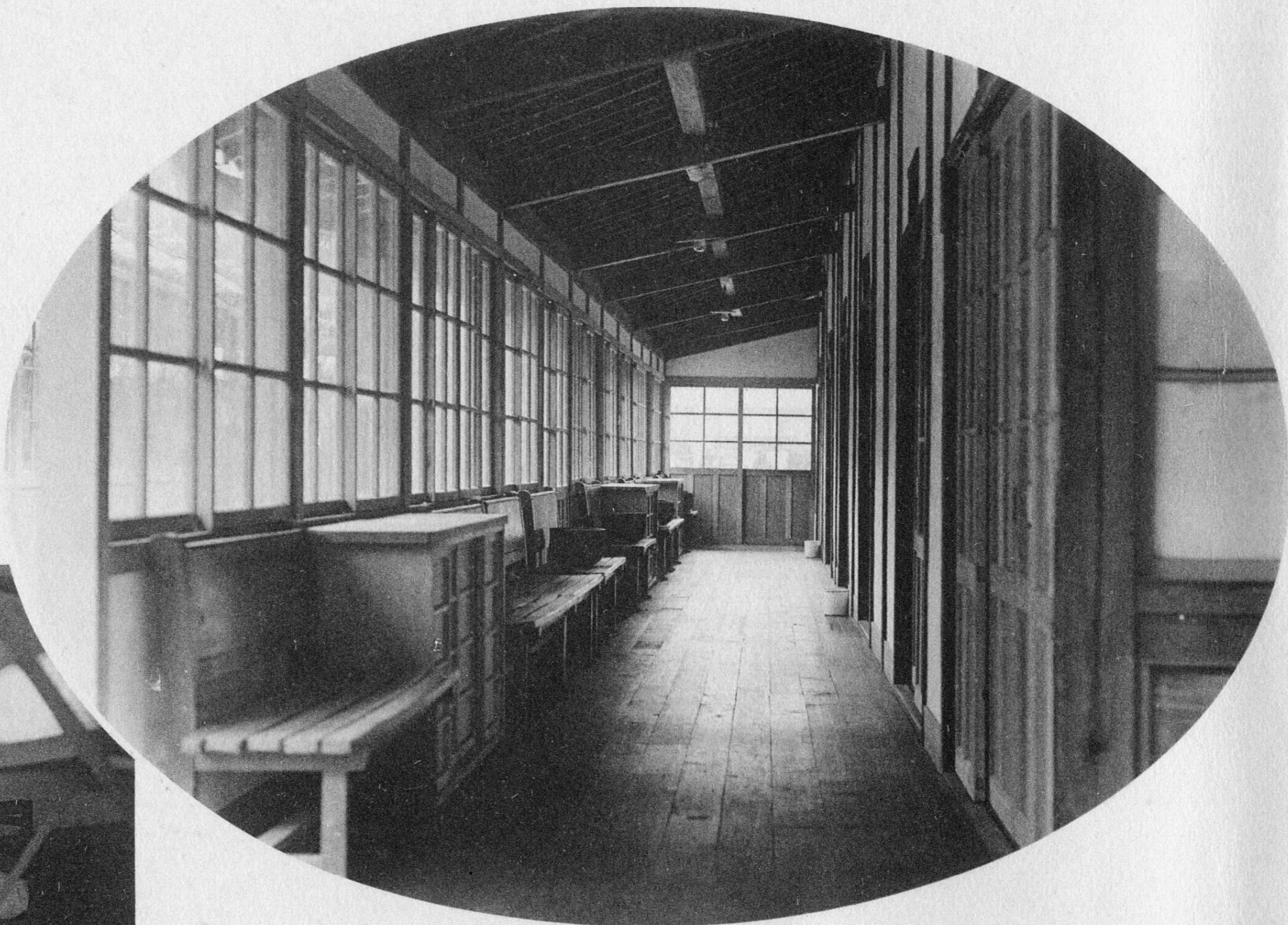
講堂階平面圖



第壹階平面圖

昭和五年 月十 日恩賜財團慶福會の御助成  
 こより宿泊設備及講堂其他改修工事を行ひ昭  
 和五年十月二十日竣成。





休養廊下

本館創立以來の  
宿泊延人員

(昭和五年末まで)

四十八萬一千  
百二十五人



宿泊室

共同宿泊

定員 百五十七人

室數 一十一

面積 百七十八坪四

鐵製一段寢臺 六十臺

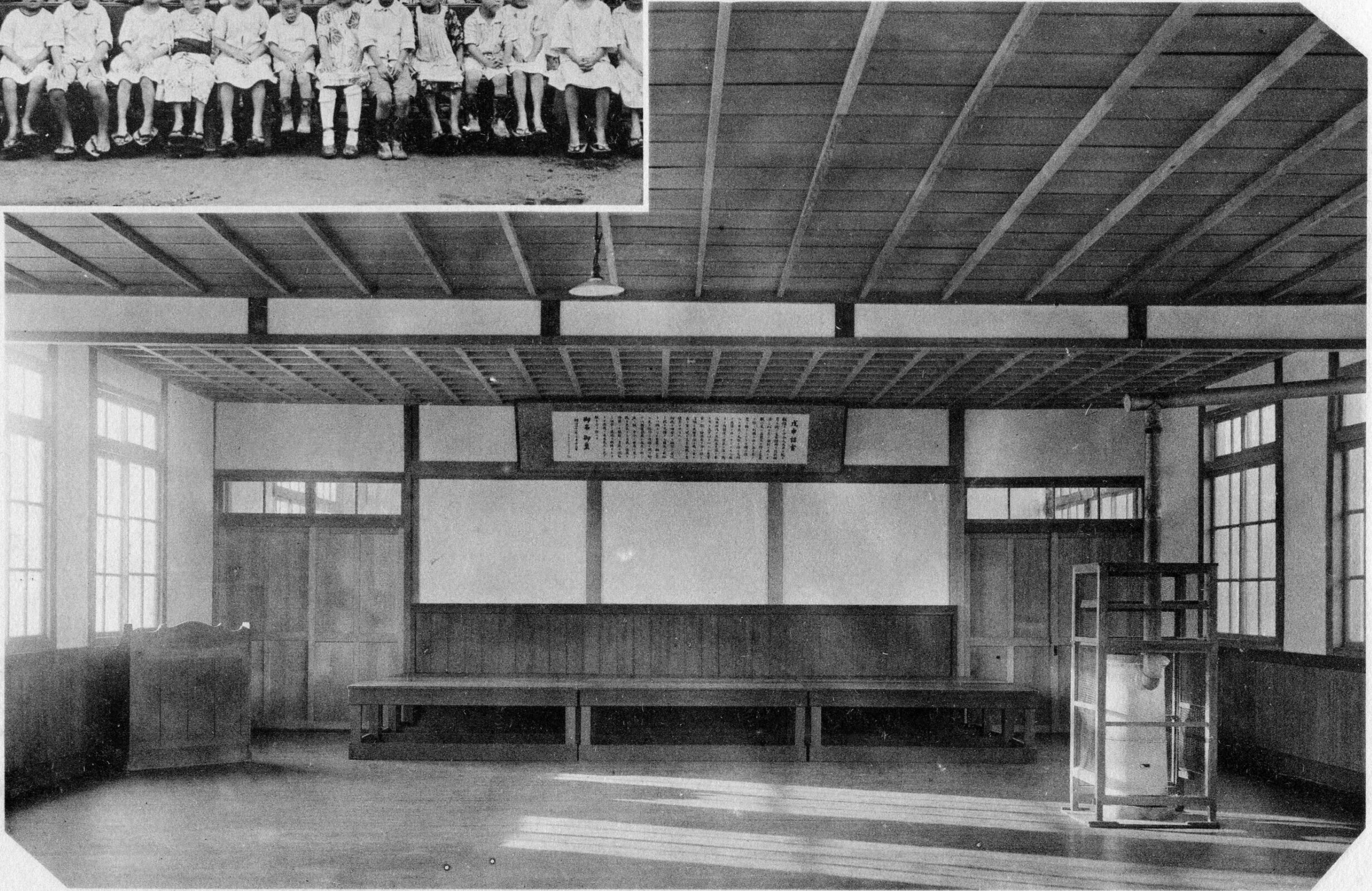
疊敷 六十疊半

休養廊下 ヶ所

一十九坪



大講堂と日曜學校



社會教化

大正五年八月 市の内外に虎疫發生

つき防疫事務應援、石炭酸其他消毒薬の配給。大正十年七

月活動寫眞講演班を組織 府下七十五ヶ町村に巡映。大正十

年 月機關雜誌「自彊」を月刊し 十一號まで毎號 萬部

宛發行。昭和 年 月第 回成人教育講座開設昭和四年五月

館内に日曜學校開設 昭和四年七月第 回成人教育として夜

間英語講座を開設。





### 慰安會

在館者慰安の爲め隨時娛樂會を  
催し尙講演會、修養座談會等  
により奮勵自彊、生活の向  
上と人格の完成を期して銳  
意貯金の奨勵を爲す。

### 授産作業

開館以來ミシン裁縫、荷車の賃貸、便所  
掃除等の授産を行ひ、大正十一年ゴム爪  
掛加工を起し就業延人員一萬九百四十人  
に達せり。







間貸部

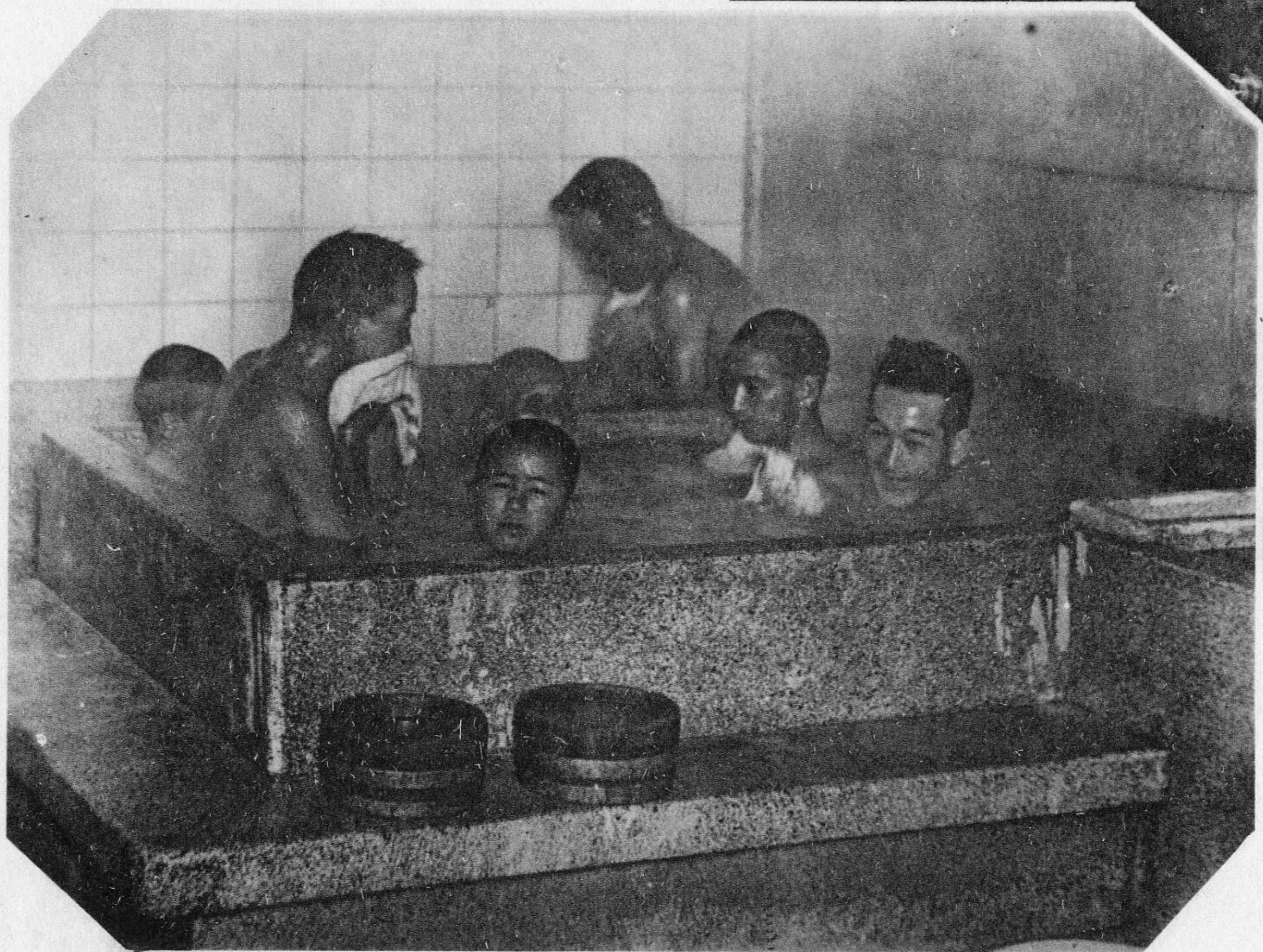
大正八年十月館内間  
貸部を設け家族持利用者  
を收容。

大正十一年一月向上館間  
貸十六ホーム増築。  
現在四十一ホーム

向上館間貸ホームと  
館内共同浴場

入浴時間

毎日午后四時より九時まで







幼 兒 保 育

大正十五年六月 日館内に保

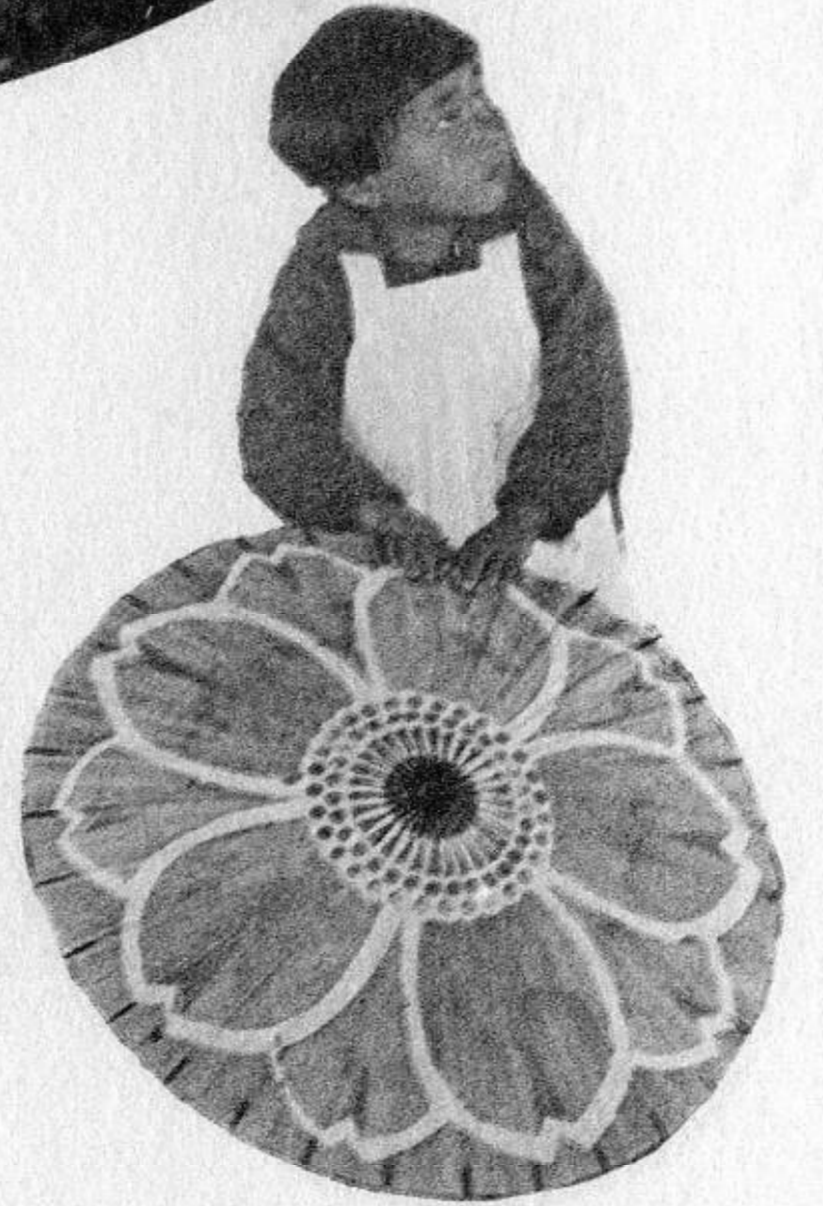
育部を併置し児童保護事業及

保育兒を通じて家庭生活の改

善、環境浄化の運動を行ふ。



運動場と  
保育  
事務室







保  
育  
児  
童  
の  
お  
辨  
當  
と  
住  
吉  
公  
園  
於  
け  
る  
郊  
外  
保  
育。





簡易食堂

大正七年五月  
南區日本橋筋  
東 丁目に  
我國最初の  
簡易食堂を  
創設し大正  
十年十月  
迄經營、利  
用人員七十萬  
二千六百七十  
七人。



廉 賣 部

開館以來館内に廉賣部を設け在館者の日用必需品を配給す、尙大正六年十月市内十ヶ所 於て白米其他の實費販賣を行ひ公設市場の濫觴を爲す。



築港分館

大正 年七月、西區  
天保町に分館を設立  
し宿泊保護事業開始  
大正八年十月閉鎖  
利用延人員 十七萬  
七百十四人

